

## 令和4年4月教育委員会会議（定例会）会議録

1 日 時 令和4年4月26日（火）午後1時30分～午後2時25分

2 場 所 教育センター セミナーホール

3 出席者〔教育長〕中島秀行

〔委員〕吉本理（教育長職務代理者）、寺本彰、清水国明、宮本陽子、森田理恵

〔事務局〕千葉裕之教育総務部長、江原勝美学校教育部長、皆川博幸教育総務部次長、中田利明学校教育部次長兼学校教育課長、吉田謙治社会教育担当参事兼社会教育課長、中村啓教育センター担当参事兼教育センター所長、糟谷苗美教育総務課長、大島光治教育総務課主幹兼教育企画室長、廣谷貴紀スポーツ振興課長、稲田里織文化財保護課長、酒井忠夫生涯学習推進センター所長、古田晃一所沢図書館長、伊東真吾学校教育課主幹兼健やか輝き支援室長、鈴木恵学校教育課主幹、渡辺純也保健給食課長、立花真輝教育センター主幹兼教育センター副所長

〔書記〕名雪晋祐教育総務課主査、小城原光貴教育総務課主査

4 前回会議録の承認

5 会議の傍聴者 2名

6 開 会 本日の議案は、議案第1号及び議案第2号の2件。

なお、報告事項のうち「新型コロナウイルス感染症への対応について」の一部、及び「市内小中学校での事案について」は個人に関する情報が含まれるため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項に基づき、非公開としたい旨の発議があり、出席委員全員が賛成し、非公開で審議されることに決定した。

## 7 議題

### ●議案第1号 所沢市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

資料に則り、廣谷スポーツ振興課長から以下のとおり説明がなされた。

所沢市スポーツ推進審議会委員については、「所沢市スポーツ推進審議会条例」第2条により、教育委員会が委嘱し、第3条でその任期は2年となっている。

現在の委員の任期は、令和3年4月1日から令和5年3月31日までであり、知識経験者として所沢市中学校体育連盟より選出されていた委員より、定年退職に伴う委員辞任の申し出があったことから、前回3月の定例会において委員の解嘱についてご承認いただいたところである。

この度、同連盟より後任の推薦があったため、委員の委嘱について、本会議に諮るものである。

以下、質疑。

(森田委員)

公募により選ばれた委員は、どのように選出されたのでしょうか。

(廣谷スポーツ振興課長)

公募につきましては一般市民から公募しており、無作為抽出した方から抽選で決めています。

※中島教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、可決された。

### ●議案第2号 所沢市就学支援委員会委員の委嘱について

資料に則り、中田学校教育部次長から以下のとおり説明がなされた。

本件については、令和4年度所沢市就学支援委員会委員11名を委嘱するものである。

所沢市就学支援委員会の主な役割は、所沢市在住の学齢児童生徒及び就学予定者の就学に関する相談、及び就学先の判断を行うものである。

知的障害、自閉症・情緒障害、身体障害、その他の障害のため、教育上特別な配慮を必要とし、就学相談を申し込まれた幼児・児童生徒及びその保護者との相談、面談を実施する。さらに、保育園、幼稚園、小・中学校での観察等を通して、一人一人の教育的ニーズに応じた就学先、具体的には、通常の学級・特別支援学級・特別支援学校及び通級指導教室等、その児童生徒にふさわしい学びの場を判断するもので、最終的な就学先は、本人、保護者の意向を最大限尊重して決定し

ている。

委員の人数については、所沢市就学支援委員会条例に「委員70人以内で組織する」と規定されており、本年度は11名を委嘱する予定である。

なお、本年度は、児童の学びの場を審議、判断をする委員のみを就学支援委員とし、調査を行う担当は就学支援委員会調査員とするものである。

委員は、条例に基づき、所沢市医師会推薦の医師、児童福祉施設の職員、知識経験を有する者、所沢市立小・中学校の校長 教諭等から組織されている。

以下、質疑。

(寺本委員)

昨年度までは学校の先生や幼稚園・保育園の先生で構成されていたと思いますが、構成自体は以前と変わっていないのか確認させてください。また、調査員という名前に変わった経緯を教えてください。

(中田学校教育部次長)

調査員の構成につきましては、小中学校教員、通級指導教室の担当者、特別支援学校の教員、保育幼稚園課、所沢第二幼稚園、松原学園の先生方になります。

委員と調査員の仕事を分担した経緯ですが、コロナ禍のため集まることを避けなければいけない状況にあることから、実際に審議判断をするメンバーを11名の委員とし、具体的に子供たちの実態を調査する方々を73名の調査員として予定しています。

(吉本委員)

昨年度までは70名程度が支援委員会の委員として委嘱されていたと思いますが、どうして今回こういう形になったか理由を教えてください。

(中田学校教育部次長)

条例第6条に、「支援委員会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。」とあります。実際に審議、判断を行っているメンバーを就学支援委員会の委員とし、資料を提出するメンバーを調査員として名称を分けました。

(吉本委員)

支援委員会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができないということは、委員の半分の35名が出席することで決められると思いますが、委員だったメンバーが委員ではなく調査員となり、11名の委員とすることで集まりも良く

なると思いますし、決定も早くなると思いますが、前回の方が一つ一つの事案に対して丁寧だったと思います。いろんな職種の人がいる中で決まる方が良いと思いますが、なぜやり方を変えたのでしょうか。

(中田学校教育部次長)

調査をするメンバーが集まる調査部会は多くのメンバーが集まり、そこで集まったデータを検討・協議し、その内容を判断部会に持ちより最終的な判断を11名の委員がしています。決定までのプロセスについては昨年度までと同じであり、やり方自体に変更はありません。

(清水委員)

委員の中に、管理側の人ではなく、当事者もしくはそれに関わる保護者がいないと管理者目線になってしまわないでしょうか。当事者、障害を持った児童の保護者や障害を持って社会で学ばれて活躍している方が入っていないと、管理という目線で進んでしまう気がします。調査員には様々な立場の方がいると思いますが、支援委員会の委員の中に、校長先生や医者という立場の方ではなく当事者が参加するべきと思いますがいかがでしょうか。

(中田学校教育部次長)

調査をする部会では、当事者、保護者との面談を行い、意向や意見を伺っています。委員の中に保護者は含まれていませんが、保護者の意向はしっかり受け止められるように調査の段階からしていきたいと思います。

(清水委員)

こういう委員会の中に直接の当事者が参加できるように進めていければ良いと思います。

(中島教育長)

全体を見る目として、一般市民や保護者の目で見るといふ方が必要ではないかということですので、当事者の保護者との面談だと意味合いが変わってくるので、そういう方を入れたほうが良いという意見をいただきましたがどうでしょうか。

(中田学校教育部次長)

就学支援委員会条例第3条に、「その他教育委員会が認めるもの」とありますので、今後検討できるかと思います。

(中島教育長)

意見として受け止めていただければと思います。

(宮本委員)

相談件数ですが令和2年、3年はコロナの影響もあって増えたり減ったりと先の読めない動きをしていますが、今年に関してはどの程度件数があるか今の時点で把握していますか。

(中田学校教育部長)

3年度に関しては就学前の相談が118件、小学校での相談が116件、中学校は6件となっています。2年度、3年度とコロナ禍ではありましたが、2年度と比べると小学校は若干増えました。中学校について差異はないと思われます。また、就学前のお子様も大きく差異はありません。

(吉本委員)

委員会は年何回くらい開催するのでしょうか。

(中田学校教育部長)

昨年度より若干増やし5回の開催予定です。

※中島教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

## 8 協議事項 なし

## 9 報告事項

○所沢市教育委員会後援等名義使用許可について (教育総務課)

○所沢市教育委員会の4月から7月までの主な行事予定について (教育総務課)

○「所沢市議会一般質問答弁要旨 令和4年第1回(3月)定例会」について  
(教育総務課)

○公民館長の任命について (教育総務課)

○令和4年度教育委員会予算の概要について (教育総務課)

○令和4年度請願第1号「富岡中学校への特別支援学級設置に関する請願」について  
(教育総務課)

以下、質疑。

(寺本委員)

請願についてですが、昨年度と比べて特別支援学級の増減を教えてください。

(中田学校教育部次長)

今年度、安松小学校と美原小学校に知的障害の特別支援学級を設置しました。小学校に関しては知的障害の特別支援学級が27校となっています。

(寺本委員)

通常学級の場合、クラスの増減は児童生徒数に応じて決まり、教員の配置も県の基準で自動的に決まると思いますが、特別支援学級の場合、教員の配置が増えることについて県の基準があるのでしょうか。または、所沢市独自の基準で教員を増やすことはあるのでしょうか。

(伊東学校教育課主幹)

特別支援学級においては、小学校の場合児童8人までが1クラス、9人から2クラスに分かれることになっています。教員の配置の基準は1クラスにつき1名配置されるのが原則になります。中学校は2クラスになった場合、3名の教員が配置されることとなりますが、以後児童の数が増えるにつれて配置の数も増えていくこととなります。また、その基準以外で県から加配という形でプラスアルファの教員が配置されることもあります。

(寺本委員)

安松小と美原小が1クラスずつ増えたということですが、令和3年度のいつ頃決定がされたのでしょうか。決定がないと新たに就学する生徒、または転出希望の生徒がそこに行けるのか、学区以外の学校に通わなければいけないのか判断が直前までできないと困ると思います。

(伊東学校教育課主幹)

就学相談と密接にかかわりますので、就学相談のスケジュールについてご説明します。就学相談については、今ぐらいの時期から6月、7月にかけて多くの申し込みを受けています。その申し込みのあった相談1件1件について検討を重ね、就学支援委員会としての判断、保護者の意向を踏まえて多くが10月から11月に就学先が決定します。その後、大勢が定まってきたところで11月、12月あたりに来年度どこの学校に特別支援学級を増設・新設するか検討し、新設にあたっては該当の保護者に新設校へ通う意思があるかどうか意向を確認しながら進めています。

- 所沢市立並木公民館ホール空調設備改修工事の工期延長について（社会教育課）
- 新型コロナウイルス感染症への対応について（教育総務部・学校教育部）  
質疑なし

《 傍聴者 退室 》

- 新型コロナウイルス感染症への対応について（学校教育部）【非公開】  
質疑なし

- 市内小中学校での事案について（学校教育部）【非公開】

《 削 除 》

## 10 その他

- 今後の日程

・教育委員会会議5月定例会：5月31日（火）

11 閉 会 午後2時25分